

1. 水質汚濁の防止

(エ) 河川等の直接浄化の推進

河川の直接浄化の取り組み(国土交通省)

・礫や植生などを用いて、河川が本来持つ自浄作用を活用した水質浄化を実施
 [実施事例] 岡山県: 旭川水系百間川(BODによる浄化率 約85%) 愛媛県: 重信川水系石手川(BODによる浄化率 約60%)

エコポート施策の取り組み(国土交通省)

The infographic is divided into three main sections:

- 「(施策1) 良好な環境の持続的な保全・再生・創出」の施策例**
 - ① 資源の有効利用による資源率の向上: 資源の有効利用による資源率の向上
 - ② 良好な環境の持続的な保全・再生・創出: 良好な環境の持続的な保全・再生・創出
- 「(施策2) 多様化する環境問題への対応」の施策例**
 - ① 船舶中の船舶のアイソレーション: 船舶中の船舶のアイソレーション
 - ② 石油類の漏み出し・汚濁におけるWOC対策: 石油類の漏み出し・汚濁におけるWOC対策
 - ③ サイクルポートの形成: サイクルポートの形成
- 「(施策3) 環境施策の実施手法の見直し・充実」の施策**
 - ① 関係機関と連携した環境施策の実施: 関係機関と連携した環境施策の実施
 - ② 関係機関の連携の促進: 関係機関の連携の促進

中央環境審議会 第4回瀬戸内海部会

1. 水質汚濁の防止

(2) 有害化学物質等の規制及び把握等

ダイオキシン類対策の取り組み(環境省)

・ダイオキシン類対策特別措置法: 平成12年1月15施行

[内容]

- ・耐容一日摂取量(TDI)及び大気、水質(水底の底質を含む。)及び土壌の人の健康を保護する上で望ましいとされる基準(環境基準)を設定。
- ・排出ガス及び排出水に関する規制として、特定施設を定め、排出規制を実施。
- ・都道府県による常時監視及び特定施設の設置者による測定を定める。等(平成12年度における水質の平均値は瀬戸法対象地域においては0.14pg-TEQ/Lであったが、平成16年度までに0.09pg-TEQ/Lまで低下)

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)に基づく取り組み(環境省)

[内容]

- ・化管法に基づくPRTR制度は、有害化学物質を環境中へ排出している量や廃棄物としての移動量を事業者自ら把握し、都道府県市を經由して国に毎年度届け出る仕組み。平成13年度以降のデータが届け出られている。(第4回目の届出データの集計・届出外データの推計では全国約4万事業所から届出があり、届出排出量は、27万トン、届出移動量は23万トン)

中央環境審議会 第4回瀬戸内海部会